

泉高等学校

校訓 明朗進取 自重敬愛 勤勉奉仕



1 基本データ

創立：昭和48年
課程・学科：全日制課程・英語科 普通科
生徒数：835名
所在地：〒981-3132
仙台市泉区将監 10-39-1
TEL：022-372-4111
FAX：022-372-4128

ホームページアドレス：
<http://izumihigh.myswan.ne.jp>
電子メールアドレス：
izumihigh@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
仙台市地下鉄 泉中央駅下車 徒歩20分 または、泉中央駅3番のりば
泉パークタウン行き宮城交通バスで7分 泉高校前下車

2 学校の特徴

スクールアイデンティティ

積極挑戦し未来を切り開く生徒

～多様な経験から主体性を育む～

泉高校では、生徒たちが様々なことに取り組む「積極挑戦」を奨励しています。泉高校でいろいろなことに挑戦し、たくさんの経験を積み重ね、自らの高い志で成長する力を身に付けて、高校卒業後も自らの力で成長し続ける前向きな「泉高生」が、勉強に部活にと毎日活躍しています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は昭和48年4月1日、旧泉市内初めての高校として開校しました。当時の近隣の普通高校が男女別学であった中で、制服を制定した男女共学校として、開発著しい泉地区に新設された本校は、宮城県の新しい高校教育の担い手として、大きな期待をもって迎えられました。

時代の要請にその都度応えながら、今年度で創立46年目を迎え、14,845名の卒業生を各界に送り出しています。

平成19年度には大規模改修が完了し、校舎は美しく生まれ変わりました。住宅地にありながらも校地は広く、陸上トラック、野球場(硬式・軟式)、サッカー場、テニスコート、ソフトボール場、弓道場等県内有数の恵まれた施設を有しています。

また、生徒の自学を支援する様々な施設や英語科独自の学習を深めることができる英語科棟など、緑豊かな環境の中にある近代的で美しい校舎は、生徒の可能性をはぐくむ十分な施設設備と言えるでしょう。

(2) 設置学科等

(過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H30	H29	H28
英語科	出願者数	35	22	41
	合格者数	16	16	16
普通科	出願者数	104	91	115
	合格者数	72	72	72

<後期選抜>

		H30	H29	H28
英語科	出願者数	41	45	46
	合格者数	24	24	24
普通科	出願者数	232	249	325
	合格者数	168	168	168

(3) 教育方針

- (1) 心身ともに健康で、物事を遂行する不屈の意志と明朗誠実で実行力のある人間を育成する。(健全な心身の鍛錬)
- (2) 生活指導を徹底し、学習意欲を高め考究心を喚起し学力の充実をはかるとともに、調和のとれた教養を身につけさせる。(知の追求)
- (3) 自主自律、協調奉仕の精神に徹し、責任を重んじ、規律正しく節度ある生活態度を養う。(情操の陶冶)
- (4) 信頼と敬愛とによる人間関係を確立し、愛校心を高め、郷土愛を養い、もって豊かな人間性の育成をはかる。(豊かな人間性の育成)

(4) 教育課程の特徴

1 ほとんどの生徒が大学進学を希望しているため、進学に向けて多くの科目を設定し、1授業時間を55分とし、1日6時間の授業を行っています。

2 普通科の特徴

2年生から、将来の自分の進路及び適性に応じて、文科系と理科系に分かれて教科・科目を選択します。

3年生では、さらに細かく進路別に対応し、文理別により多くの教科・科目を選択できるよう配慮しています。

3 英語科の特徴

平成25年度以降の入学生は、英語の専門科目を3年間で合計25単位取得できるよう設定しています。専門科目として、「総合英語」、「異文化理解」、「英語表現」などがあります。

3年生では、生徒の進路希望に対応して幅広く教科・科目が選択できるよう配慮されており、センター試験のために必要とされる数学と理科の科目が選択できるようになっています。

また、CAI (Computer Assisted Instruction) 教室では、コンピュータを用いた独自の授業(プレゼンテーション等)を実施しています。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

本校では、5月に泉三校定期戦、7月に文化祭(泉高祭)、9月に球技大会などの行事があります。これらの行事は、生徒会とともに、各実行委員会による自主的な活動に支えられており、生徒各自が積極的に取り組むことで大いに盛り上がります。

生徒会は、選挙で選ばれた執行部員が中心となり、行事ばかりではなく、挨拶運動やボランティア活動を行うなど、多岐にわたり積極的に活動しています。

部活動は、全員が必ずどこかに加入することになっています。運動部・文化部ともに多くの部活動が上位大会に進出するなど活躍しています。特に近年では、陸上競技部、弓道部、放送部、書道部が東北大会・全国大会に出場しており、特筆すべき成果を上げています。

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H29	H28	H27
国公立大学	72	80	69
国公立短大	0	0	0
私立大学	135	148	157
私立短大	8	3	4
専各学校	18	20	14
就職	8	5	3
その他	31	26	29
卒業生計	272	282	276

主な進路先(平成30年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<国公立4年制大学>

東北大学、宮城大学(20)、山形大学(23)、宮城教育大学(7)、福島大学(6)、岩手大学(2)、秋田大学、横浜国立大学、宇都宮大学、埼玉大学(2)、愛知教育大学、岩手県立大学、埼玉県立大学、山形県立保健医療大学、群馬県立女子大学、茨城県立医療大学、横浜市立大学(2)

<私立4年制大学>

東北学院大学(54)、東北福祉大学(23)、宮城学院女子大学(20)、東北工業大学(4)、東北医科薬科大学(4)、仙台大学(2)、上智大学、中央大学、仙台白百合女子大学(2)、法政大学、明治大学、明治学院大学(2)、東京女子大学、日本大学(2)、駒澤大学、國學院大、神田外語大学、武蔵大学、千葉工業大学、獨協大学、他

<短期大学>

聖和学園短期大学、仙台青葉学院短期大学、創価女子短期大学

<専修各種学校>

仙台医療センター附属看護助産、東北労災看護、仙台徳洲看護、大原簿記公務員専門学校、他

3 入試情報

(1) 募集定員

普通科 男女 240名
英語科 男女 40名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の30%以内(72名以内)
英語科 定員の40%以内(16名以内)

ロ 出願できる条件

《普通科》

次の1～3の全ての条件に該当していることを自己アピールでき、さらに4の条件を満たしていること。

- 1 基本的な学習習慣や生活習慣を確実に身に付け、生徒会活動・部活動・ボランティア活動において積極的に活動した者
- 2 本校普通科を志望する強い意志をもち、入学後も、上級学校へ進学するという明確な目標をもって積極的に学習活動に取り組む者
- 3 多様化する社会の変化に対応できる生きる力と創造力を伸ばし、将来は積極的に、社会に貢献しようとする強い意志をもって、意欲的に高校生活を送ろうとする者
- 4 中学校1～3年生の全教科の評定平均値が4.3以上の者【調査書】

◆4は「資格確認の対象とする条件」である。

《英語科》

次の1～3の全ての条件に該当していることを自己アピールでき、さらに4の(1)、(2)の両方の条件を満たしていること。

- 1 基本的な学習習慣や生活習慣を確実に身に付け、生徒会活動・部活動・ボランティア活動において積極的に活動した者
- 2 外国語に強い関心があつて、本校英語科を志望する強い意志をもち、入学後も、語学力を生かし上級学校へ進学するという明確な目標をもって積極的に学習活動に取り組む者
- 3 多様化する社会の変化に対応できる生きる力と創造力を伸ばし、将来は積極的に、社会に貢献しようとする強い意志をもって、意欲的に高校生活を送ろうとする者
- 4 (1) 中学校1～3年生の全教科の評定平均値が4.0以上の者【調査書】
(2) 中学校1～3年生の英語の評定平均値が4.3以上の者【調査書】

◆4は「資格確認の対象とする条件」である。

ハ 学力検査

各学科とも 国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

各学科とも 小論文(配点75点) 50分
文章読取型・資料読取型

中学校社会科及び中学校理科の双方の学習内容を含む題材に関して、基本的な知識の定着や読解力、思考力、表現力を総合的にみる。

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

普通科 168名(予定)
英語科 24名(予定)

ロ 面接・実技の有無

各学科とも なし

ハ 傾斜配点の有無

各学科とも なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

各学科とも 3:7

ホ 第2志望について

該当あり

普通科・・・なし
英語科・・・普通科を第2志望とすることができる

(4) 平成30年度転編入学試験について

(7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
平成30年7月18日	全学年	国・数・英・面接
平成30年9月21日	全学年	国・数・英・面接
平成30年12月18日	全学年	国・数・英・面接
平成31年3月15日	新2,3年	国・数・英・面接

4 写真で見る学校生活



登校風景



海外研修



泉三校定期戦

我が校のPRポイント

泉高校は今、国公立大や難関・有名私大への合格者が増加し、注目を浴びています。多くの生徒が部活動や学校行事等できなりの満足感、充実感を抱いています。平成18～20年度には文部科学省の指定によるSELHi(スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール)での研究、平成25年度には同じく文部科学省の指定による普通科の英語科目「コミュニケーション英語I」の研究を行うなど、英語科、普通科ともにレベルの高い英語の授業が展開されています。また、オーストラリアでの海外研修の門戸を普通科にも広げ、現地校との国際交流活動が盛んに行われています。

生徒たちが学習と部活動を両立し、確かな学力を身に付けることができるよう、週ごとの課題の量の適正化を図り、朝学習と週間課題に効果的に取り組めるシステムを作るなど、学習方法の工夫改善に取り組んでいます。また、平日課外はもちろん、土曜セミナーも充実しています。さらに、生徒たちが校内で自主学習をするための自習室が用意されています。集中して学習に取り組めるよう60人分のブースと冷暖房が完備され、土日も開放されています。加えて、進路室には全国の大学の入試問題や小論文問題など、進路選択に役立つ書籍類が多数準備されているなど、ハード、ソフト両面とも年々充実してきています。これらは、公立高校の学習支援としては群を抜く充実ぶりです。その成果が年を追って現れてきています。

伸びやかな生徒の気質は健在で、さらに実績を伸ばしつつある泉高校は、自分の可能性を大いに伸ばしてみたいという意欲ある生徒の皆さんには申し分のない高校です。